

ゆうかげ

Vol.135
2026.1.1



表紙写真 「伊豆高原グランイルミ」ツアー（伊豆ぐらんぱる公園）



『新しい日々を共に歩む喜び』

伊豆高原十字の園
施設長 岩本佑太

新しい年を迎えるにあたり、皆さまに心よりご挨拶申し上げます。

2026年のローズンゲンの聖句は「見よ、私は万物を新しくする。」（ヨハネの黙示録21章5節）です。この御言葉は、私たちに日々の歩みの中で新しい希望を見いだす力を与えてくれます。

振り返れば、昨年も利用者の皆さまの笑顔、ご家族の皆さまの温かな支え、教会や地域の関係機関の皆さまの祈りと協力、そして職員一人ひとりの働きによって、施設の日々は守られてきました。困難や試練の中にも、神さまが新しい力を注いでくださり、私たちは前に進むことができました。

「新しくする」という言葉は、単に古いものを取り替えることではなく、日常の中に新しい意味や喜びを見いだすことだと思います。利用者の皆さまが安心して過ごせるように、職員は小さな工夫を積み重ねています。季節の行事や趣味活動、食卓でのひととき、何気ない会話の中にも新しい恵みが宿ります。今年もその積み重ねを大切にし、皆さまが「ここで過ごしてよかった」と感じていただけるよう努めてまいります。

また、地域や関係機関とのつながりを深め、互いに支え合う関係を築いていきたいと願っています。神さまが万物を新しくされるように、私たちの絆もまた新たにされ、広がっていくことでしょう。

本年が皆さまにとって健やかで希望に満ちた一年となりますようお祈りいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

生活支援室レクリエーション活動

～寒さに負けず秋冬の味覚を楽しむぞ！～



1階と3階ユニットはココスへランチ、2階ユニットはアピタへお買い物に行ってきました！入居利用者も同行した職員も外出から帰ってくると笑顔で、「楽しかったよ。また、行きたい。」と喜んでいました。下の写真は「おにぎりランチボックスバイキング」の様子です。好きなおにぎりやおかずを自分で選び、たくさん召し上がってきました。また各ユニットでは、料理上手な職員が“こだわりの芋煮”を作りました。



詳細はこちら



ミニチュアフード作りをしました！

施設職員でミニチュアフード作りの達人を講師にお招きして、子どもたちみんなで楽しくミニチュアフード作りを行いました。



子ども達は真剣な顔で作業し、本物そっくりにできました！！

本物そっくりのクリームソーダとゼリーが完成しました！！

ボランティアの方々に感謝！！

お米やお野菜など毎月たくさんの食材の寄付をいただき、子どもたちに温かい食事を提供しております。ご協力ありがとうございます。11月メニューは、醤油ラーメン・おにぎり・蒸かし芋・柿・りんご・プリンでした。みんなで美味しくいただきました。



国道沿いのふるさと会館が会場となります



伊豆高原十字の園 デイサービスセンター

ました。

もうい、おにぎりにして「パクリ」。おいしく召し上がつていただき

つていただきました。玄米になつたお米は厨房でおいしく炊き上げて
テニスボールとごますりの器を使って、玄米へと皆さん楽しそうに行

春に植えたお米を収穫することができました。田植えから稻刈り、
「十字の園米 できあがりました」



「認知症ケア＆予防研究会」



たすけあうじゅうみん主体のまちづくり
対島地域ふるさと協議会



11月開催の「認知症ケア＆予防研究会」では認知症の症状のある方や、ご自宅で介護をされている家族も参加され、本人の視点や思いをテーマに、診断を受けた時の本人の心境や、周囲には時に不可解に見えてしまう行動について、事実に基づいた事例で紐解き、本人にはとても大切でゆずれない意味のある行動で、その意味を家族が知り、理解した上での対応によりその行動も消え、さらに家族はその真意を知ったことで、本人の家族に対する深い愛を知ったケースを共有しました。また、適切な支援方法が分かっていても、心のゆとりや余裕がない状況では家族はとても苦しい状況であるといった意見も伺えました。

認知症ケア＆予防研究会は取り組みから10年以上経過していますが、良いケア、方法等は一つではなく、人も個性や価値観の違いがあるように、ケアにも本人と家族の関係性やタイミング、地域、環境によっても様々で、良いケアもそれだけ多くの方法や事例があると思います。「聞けて良かった」、「励みになった」と感じていただけるように、これからも内容を練りに練って、開催していきたいと思います。ご参加お待ちしております。（主催 対島地域ふるさと協議会 連絡先 対島地域包括支援センター ☎ 0557-55-2872）

対島

いきいき 健康フェスタ

2025

9.28(土)

「対島いきいき健康フェスタ」は対島地域包括支援センターと対島地域ふるさと協議会が協賛して行うイベントで、今回で4回目の開催となりました。地域の方々に介護予防の観点から「健康」についての关心を高めてもらい、健康の保持増進を図るとともに、事業所間の交流を深めることも目的としています。今回は初の伊豆高原十字の園の地域交流ホールを会場とし、土曜日に開催することとなりました。



健康推進課やリハビリ事業所、病院、薬局、司法書士事務所など8団体がブースを設置し、地域の方や施設の入居者の方など多くの方が来場されました。皆さん、健康づくりや生活習慣病、栄養、相続などについても、非常に関心が高く、今後の生活について真剣に考え、情報を求めていることが伺えました。また、「チームオレンジおはな」は唯一ボランティアで会場にカフェを出店し、来場した方の憩いの場を担当しました。

今後、開催場所等は皆さんのご意見や希望など聞きながら、毎年実施していきたいと考えています。ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

苦情相談件数

期間：2025年4月～2025年9月

件数：3件

十字の園では、本法人に対する苦情を真摯に受けとめ、より良いサービス提供ができるよう心がけています。苦情内容及び対応につきましては、社会的透明性確保のためWebサイトで公表しております。

こちらからご確認ください。➡➡➡



ボランティア紹介（順不同・敬称略）

上田彰・上田文（伊東教会）、眞田正美・石井滋子（伊豆高原教会）、山口光仕（川奈聖書教会）、畠澤かおり（宇佐美教会）、伊豆高原十字の園ガーデニングクラブ、ハートピアいとう（傾聴）、十字の園奉仕会（縫製）

ユニットボランティアさん募集中！

元気な笑顔と優しい気持ちがあれば、どなたでも参加可能です。
お話し相手、皿洗いや食事の準備、得意なものがある方は趣味活動の支援（折り紙や塗り絵など）も大歓迎！お気軽にご連絡ください。



お問合せ先；生活相談室 ☎ 0557-54-1613

伊豆高原十字の園広報紙 夕光(ゆうかげ) No.135

発行日／2026年1月1日

編集／伊豆高原十字の園 広報委員会

発行責任者／施設長 岩本 佑太

年2回(7月・1月)発行 次回 2026年7月発行予定

寄付報告

期間：2025年6月～2025年11月

合計：¥134,000-（3件）

【献金】

日吉幸代、関谷哲男、匿名

【物品】

大江院、白鳥博文、大昭商事（有）高田有康、井上悟、NPO 法人郷組、日本マクドナルド、株式会社伊豆ハウスクリーン、トヨタユナイテッド静岡、山村ミキ、匿名

（順不同・敬称略）

皆さまのご厚意に感謝いたします。ありがとうございました。

温かいご支援をお待ちしております

郵便振替口座 00810-6-168180
ゆうちょ銀行 089店 当座 0168180
口座名義 伊豆高原十字の園

あとがき

「あるよ～!! あるよ～!!」最後まであきらめない合言葉

学童野球の試合では打者が内野ゴロを打ち、アウトとなる可能性が高い時にも、なんとか出塁する可能性を信じて、子どもたちが「あるよ～!! あるよ～!!」と一塁へ向かう走者を懸命に応援する場面があります。時に絶望的な状況においても少しでも可能性があるなら、最後まであきらめない大切なことをあらためて教えてもらいました。今年は子どもたちを見習って何事もあきらめず、粘り強く頑張ります！（広報委員）

最新情報はこちらからどうぞ▶



社会福祉法人十字の園

高齢者総合福祉施設 伊豆高原十字の園

〒413-0232 静岡県伊東市八幡野1028-4

☎0557-54-1613 FAX0557-54-2484

<http://www.jyuji.or.jp>